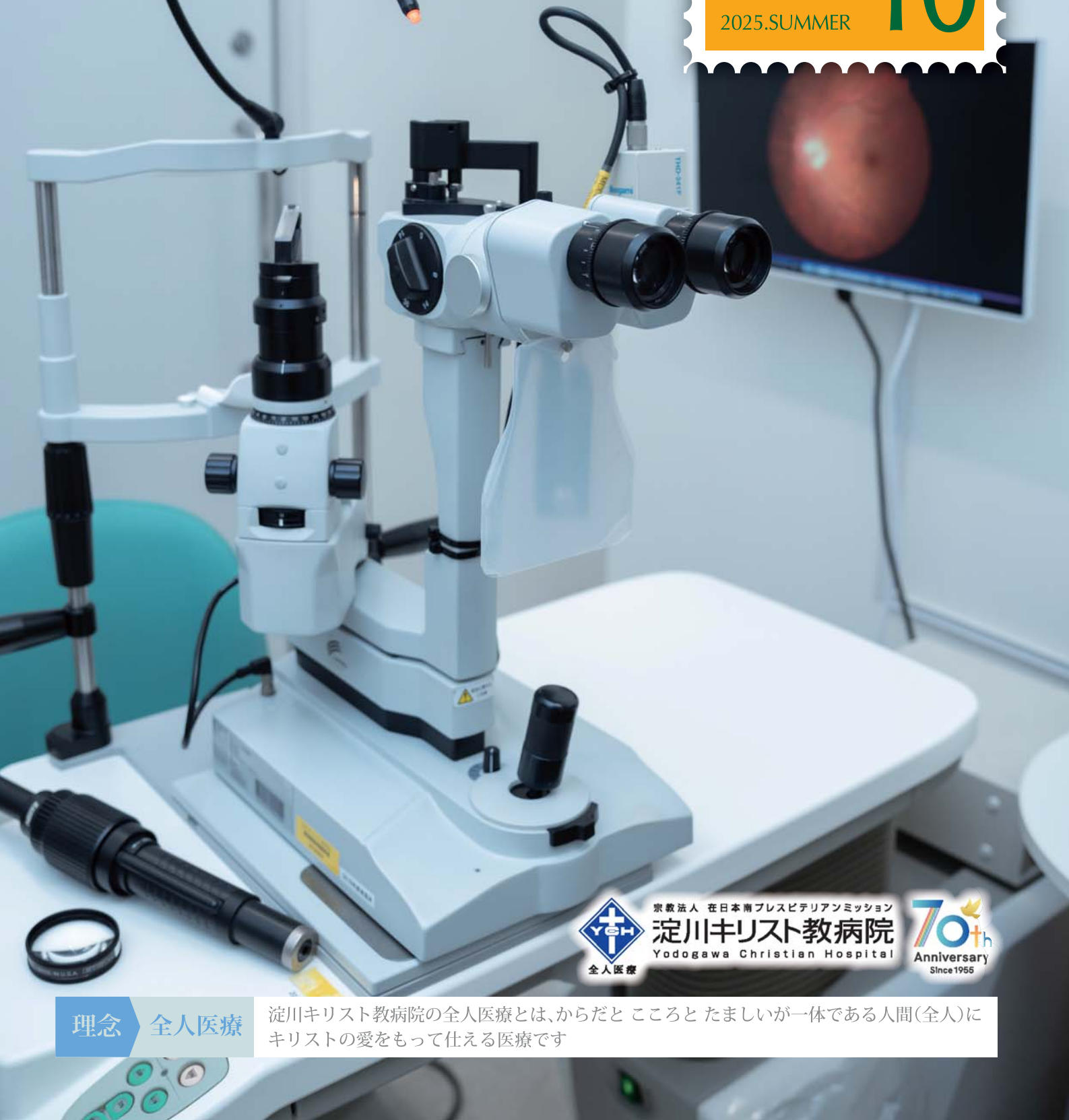


特集 眼科

- よどきり健康メモ／胃カメラ検査、もっと楽に！
- ろうけん便り／「災害備蓄食の調理・提供訓練」の実施
- 簡単&ヘルシーレシピ／トマトカップの夏野菜サラダ
- チャプレン室だより
- 登録医紹介／おの消化器内科・内視鏡クリニック
- Topics

ご自由にお持ち帰りください



宗教法人 在日本南ブレスピテリアンミッション
淀川キリスト教病院
Yodogawa Christian Hospital

全人医療



理念 全人医療

淀川キリスト教病院の全人医療とは、からだと ところと たましいが一体である人間(全人)に
キリストの愛をもって仕える医療です

常勤・非常勤の 多数の医師が在籍

中井慶眼科部長（以下、中井） 当院の眼科は今年（2025年）4月に雲井美帆医師が着任し、現在は常勤医4名の体制となりました。雲井美帆医師は、網膜硝子体の疾患が専門で、さらにバックグラウンドには緑内障診療を経験しているのも特長です。今後は当院でも手術も含めて、緑内障治療ができるようになればと考えています。

また雲井弥生医師は、斜視弱視治療を専門としています。常勤医の岩本医師と上江田医師は若く、優秀な医師です。彼らに多くの症例を経験してもらいたいですし、また私たちも彼らから刺激を受けながら日々の診療に携わっています。

各専門領域において 質の高い診療を

中井 私の専門はぶどう膜炎疾患という、眼の炎症疾患です。原因は梅毒などの感染もありますが、サルコイドーシス、ベーチェット病、原田病といった膠原病が原因となる非感染性のものもあります。専門病



眼科部長
中井 慶
Nakai Kei

院がそれほど多くなく、多数の患者さんを紹介いただいております。膠原病と関連することから当院のリウマチ膠原病内科とも連携し、同日に両科とも受診できるようにするなど、患者さんの負担を減らす配慮もしています。ぶどう膜炎は炎症によって、硝子体が混濁し、飛蚊症状が出ますが、眼の悪性リンパ腫の症状とも類似しており、診ただけでは判断が困難で、硝子体手術による生検が必要な場合があります。悪性リンパ腫であれば眼だけではなく全身の治療が必要になり、血液内科と連携しながら抗がん剤治療と眼の硝子体注射を並行して行います。



特集—眼科

眼科は全身疾患の“窓” 他科と連携し、専門性の高い診療を

白内障、緑内障、加齢黄斑変性といった高齢者にお悩みの方が多く疾患から、ぶどう膜炎疾患、斜視弱視、網膜硝子体手術など専門性を要する治療まで幅広く診療している眼科。医師それぞれの専門領域を交えながら、診療内容について聞きました。

△の時間を制限するなどの対応を早めにするれば戻ります

雲井弥生医師 私は神経眼科と斜視弱視治療が専門で、どちらも眼球運動障害が関連

しており、大人であれば脳神経麻痺、滑車神経麻痺、外転神経麻痺などで片眼が動きにくくなり、物が二重に見える複視の症状が出ます。原因は外傷、脳梗塞などによる血流障害、脳腫瘍による神経の圧迫、甲状腺疾患が影響することもあり、脳神経外科や糖尿病・内分泌内科と連携して治療を行います。子どもの場合は、眼球運動障害や眼の位置

の異常で内斜視・外斜視が出て、両眼で見る力が育たないことがあります。弱視は強度の遠視や屈折異常により視力が悪くなるもので、こちらも放置していると両眼視が育たないので、早期発見・早期治療で正常な眼に近づける必要があります。当院では4名の常勤の視能訓練士が治療にあたっています。

内斜視はスマホやゲーム画面を長時間近くで見ることでも起き、10代、20代の方にも増えています。画面から距離をとる、ゲー

ですが、対応が遅いと手術になることもあるので注意が必要です。

雲井美帆医長 網膜硝子体の疾患である網膜剥離は、早急に手術を要します。また糖尿病網膜症、網膜静脈閉塞症、加齢黄斑変性などが原因となって硝子体出血を起こすことがあり、原因が特定できない場合は早めに手術で出血を取り除き、原因を調べる必要があります。加齢黄斑変性による網膜の出血が大きい場合は「t-PA血栓溶解剤」の注射が有効です。



雲井 弥生
Kumoi Yayoi



岩本 悠里
Iwamoto Yuri



雲井 美帆
Kumoi Miho

よどきり健康メモ オプション検査のご紹介

胃カメラ検査、もっと楽に！

胃カメラ検査(上部消化管内視鏡検査)は、胃の不調や病気の早期発見に大切な検査ですが、「つらい」「苦しい」といったイメージをお持ちの方もいらっしゃるかもしれません。

当院では、皆さんに安心して検査を受けていただくため、2025年4月1日より鎮静オプション(セデーション)を開始しています。詳細については、当院ホームページをご確認ください。

鎮静オプション
好評受付中



当院ホームページ QR コード (鎮静内視鏡検査について)
<https://www.ych.or.jp/feature/dock/newscategory/option2504/>



ご予約
お問い合わせ

06-6324-6530 (健康管理増進センター)

電話受付時間 月～金曜日 8:30～17:00 / 土曜日(第2・第4) 8:30～12:00

ろうけん便り

災害対策強化への取り組み！「災害備蓄食の調理・提供訓練」の実施

近年では、高齢者施設でも災害発生時におけるBCP(事業継続計画)の作成が求められるようになり、毎年研修や訓練の実施も義務付けられるようになりました。

そのような背景の中、今年度は、もうすぐ期限切れとなる備蓄食を活用して調理・提供する訓練を実施しました。

訓練は1Fの通所リハビリで実施。利用者さんにご協力いただき、昼食のご飯のみ災害備蓄食に変更させていただきました。調理と言っても備蓄食の封を開けお湯を注ぐだけなのですが、中に埋もれているスプーンと乾燥剤を取り出すこと、お湯を注いだらかき混ぜること、完成まで15分掛かることなど、実際にやってみて知ることも多くありました。実際に食べていただいた通所リハビリの利用者さんからは「おいしい!!」という声も聞かれ、品質も確認できました。

実際の災害発生時は厳しい環境下での対応になるため、実践的な訓練を積み重ね、もしもの事態への対応力強化に努めていきたいと思ひます。



淀川キリスト教病院 老人保健施設

〒533-0032 大阪市東淀川区淡路2-1-41

TEL:06-6815-8222(直通) FAX:06-6815-8188

ホームページ <https://www.ych.or.jp/group/rouken/>



専門外来を開設し 門戸の広い診療体制



上江田 基宏
Ueda Motohiro

中井 ぶどう膜炎に加えてアレルギー性結膜炎も専門にしております。アレルギー性結膜炎には季節性、春季カタルなどさまざまなタイプがあり、ステロイドや免疫抑制剤点眼などを組み合わせた治療を行います。特にアトピー性角結膜炎については皮膚科への紹介をすることもあります。患者さんの中にはご自身がアトピー性皮膚炎であることを認識していなかったり、適切な治療を受けていない方もおられるので、結膜炎の治療だけでなく根本的な治療を受け

られるよう誘導しています。

上江田基宏医師 甲状腺疾患によって眼球

が突出したり視神経を圧迫して視力が低下する甲状腺眼症の治療は選択肢が少なく、ステロイドを点滴するステロイドパルスが主な治療法でした。しかし最近、ステロイドよりも副作用が少ない「テッペザ」という新しい薬が登場しました。当院ではこの薬をいち早く取り入れ、大阪大学医学部の森本壮先生にご協力いただきながら治療を行っています。

甲状腺眼症を扱う病院はそれほど多くなく、患者さんご自身が放置していたり、そもそも発症に気づいていない方もおられます。当院では糖尿病・内分泌内科と連携しながら負担の少ない新しい治療を提供できるので、今まで治療されていなかった方もこの機会にぜひ受けていただきたいですね。

中井 ぶどう膜炎、斜視弱視、アレルギー性結膜炎、甲状腺眼症については外来を設け、より専門性の高い治療を提供しています。

豊富な選択肢で 患者さんに合った治療を

岩本悠里医師

白内障の手術も、入院・日帰

りともに行っています。当院では単焦点の眼内レンズ、単焦点レンズよりも焦点深度が大きい、焦点距離拡張型レンズ、遠・中・近どの距離でも、メガネなしでよく見える多焦点レンズと多種類のレンズを積極的に扱っています。生活の中で読書などの手元か、それとも遠くを見ることを重視するか、メガネで補うことは許容できるかなど、患者さんのライフスタイルや要望に応じたレンズを選定し、QOL(生活の質)を高められる白内障手術に取り組んでいます。

濱本亜裕美医師 豊富な種類の眼内レンズや先ほどのテッペザなど、中井医師は新しい治療を取り入れることに積極的です。それだけバリエーション豊富な治療を受けられるのが、当院の眼科の特長だと思います。



濱本 亜裕美
Hamamoto Ayumi

登録医紹介 淀川キリスト教病院は、かかりつけ医と連携しながら診療を行う「地域医療支援病院」です。

おの消化器内科・内視鏡クリニック

診療科目／消化器内科、内科、肛門内科

ホームページ <https://www.ono-naishikyo-cl.jp/> TEL.06-6755-9400



医療センターや総合病院での経験から、「患者さんが検査を受けること」が重要だと強く感じるようになったという小野洋嗣院長。内視鏡検査に対する心理的ハードルを下げることに尽力されています。

—内視鏡検査は診断の正確さが重要とおっしゃっています。

はい。同じ画像を見ても診断の正確さには差があることがあります。私は常に最新の知識や技術を学び続け、消化管がん以外の疾患に対しても内視鏡診断の精度向上に努め、正確で迅速な診断を心がけています。

—検査に苦手意識を持っている方が多いですね。

当院では、不安を少しでも和らげ、気軽に検査を受けていただける環境づくりに努めています。検査中の苦痛を軽減するために、鎮静薬や鎮痛薬を適切に使用し、できるだけ負担の少ない内視鏡検査を提供しています。

—メッセージをお願いします。

「がん」と聞くと、多くの方は「死」を連想されるのではないのでしょうか。しかし「がん＝早く見つけて治す」ものという時代が変わってきています。私は「消化管がんを命を落とす患者さんをゼロにする」ことを目標の一つに掲げています。ぜひ、ご自身の健康を守る習慣として、内視鏡検査を身近なものにしたいだけだと思います。



おの ひろし
小野 洋嗣 院長

趣味・特技

サッカー、フットサル、スノーボード、スポーツ観戦

おの消化器内科・内視鏡クリニック



〒533-0004
大阪市東淀川区小松2-2-4
コマツビル3階B

アクセス

阪急京都線「上新庄」駅から徒歩5分

Topics いのちをつなぐ新たな一台へ～救急車の更新にご支援を！～

当院の2台の救急車のうち1台は、導入から22年の間、患者さんの搬送や災害現場で活躍してきましたが、車輛の老朽化により長距離搬送が難しくなりました。南海トラフ地震など、いつ起こるか分からない災害時に備え、地域の命を守る新たな多機能型救急車が必要です。更新費用の一部をクラウドファンディングで募集しています。詳細はQRコードからご覧ください。

実施期間：2025年7月14日～2026年3月31日

～クラウドファンディングとは～
インターネットを通じて、思いに共感した方からご支援を集める仕組みです。近年、医療や福祉などの分野でも活用が広がっています。



からだにうれしい簡単&ヘルシーレシピ

トマトカップの夏野菜サラダ

栄養管理課 中川 瑛理



トマトのカップに夏野菜を入れた、見た目にも楽しめるサラダです。



材 料 2人分

具材：トマト大…2個 キュウリ…1/4本 オクラ…1本
ツナ(水煮)…1/2缶

ドレッシング：玉ねぎ…50g 人参…25g 醤油…小さじ2
酢…小さじ1 サラダ油…小さじ1.5 砂糖…1つまみ 塩…少々

作り方

具材

①トマトはヘタの部分を切り、中をスプーンでくり抜きみじん切りにする。※1

②オクラは塩ずりして茹で、5mmの厚さに切る。

③キュウリは5mm角に切り、ツナは水切りする。

ドレッシング

①玉ねぎ、人参をすりおろす。

②醤油、酢、サラダ油、砂糖、塩を混ぜ合わせ、①とみじん切にしたトマト※1を加えて混ぜる。

トマトのカップにキュウリとツナ、ドレッシングを入れ、最後にオクラを盛り付けて完成。

栄養価

エネルギー…73kcal 炭水化物…4.6g
たんぱく質…3.5g 食塩相当量…1.3g
脂 質…3.2g

COOKING MEMO

具材にパプリカやレッドオニオンを使用すると、さらに鮮やかな見た目に仕上がります。また、ドレッシングの酢は万能酢を使うとまろやかな口当たりになります(その際、砂糖は不要です)。

チャプレン室だより



「なっちゃん」のこと



「なっちゃん」という名のシャコバサボテンの苗をいただいたことがある。送り主の知人の娘さんを記念とした名で、小学校入学前に病で天に召されたという。長い間花芽をつけず、南向きのこの場所なら託された。当時教会のシャコバサボテンたちは、いい加減な世話しかしない私をよそに、クリスマスには見事に自力で満開になっていた。さて、苗を預かって2年後、「なっちゃん」が初めて真っ白なつぼみをつけた。嬉しかった。次の年、花が少しピンク色になった。この世にあればもう中

学生。頬をぽっと染めているかのよう。その後「なっちゃん」を株分けしたという苗が加わり「なっちゃん2号」と名づけた。二つの苗がまるで姉妹のように、その年にはオレンジ色、その次の年は美しいピンク色の花を咲かせた。「なっちゃん」をみていると、いのちというものが私たちの中で続いていくことを知る。形は変われど、神さまの与えるいのちは人と世界につながる時、本当に輝きだす。

チャプレン室 濱本 京子

ー医療費でお困りの方へー

無料低額診療

～医療費の減額や免除が受けられる制度です～

こんな時
ご相談
ください！

- ・入院したら収入がなくなる
- ・急な入院で医療費が心配
- ・年金だけでは収入が少ない
- ・非課税世帯で医療費が心配



ご相談の対象となる1ヵ月の収入のめやす(例)

ひとり暮らし	月10～11万円以下
70歳代の夫婦2人暮らし	月16万円程度以下
30歳代の夫婦、小学生、中学生の4人家族	月27万円程度以下
30歳代のひとり親、小学生、幼稚園児の3人家族	月22万円程度以下

相談窓口

1F 総合患者支援センター

固定電話から **0120-364-489**

携帯電話から **0570-003-489** ※ガイダンス後「9」を押す

平日 9:00-17:00 土曜日 9:00-12:00

適用にあたっては、審査をさせていただきます。

経済状況を確認できる書類(給与明細、年金通知書など)のご提出をお願いすることになります。

編集
後記

今年は梅雨が短く、あっという間に夏本番を迎えました。連日の暑さに体調管理が難しい時期ですが、こまめな水分補給や適度な休息を心がけ穏やかにお過ごしください。皆さまの健康に役立つ情報を、これからもお届けしてまいります。

★公式FacebookやInstagramからもさまざまな情報を発信しています。みなさまからの「いいね！」をお待ちしております。



Facebook



Instagram



全人医療

宗教法人 在日本南ブレスピテリアンミッション

淀川キリスト教病院

Yodogawa Christian Hospital

本誌についてのご意見をお待ちしています。「この記事がおもしろかった」「あの部署のことが知りたい」など、読者のみなさまの声を今後の誌面づくりの参考にさせていただきます。淀川キリスト教病院 広報課 kouhou@ych.or.jp

〒533-0024 大阪市東淀川区柴島 1-7-50

TEL: 0120-364-489 (固定電話から) TEL: 0570-003-489 (携帯電話から)

『よどきり便り』46号(2025年8月発行) 発行責任者/笹子 三津留 編集責任者/藤原 寛

※広報誌の写真撮影については、撮影直前にマスクを外す等、細心の注意をはらって撮影を行っています。また一部写真については、過去に撮影した写真やご本人に提供をお願いした写真もございます。